



2020 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名	リネットジャパングループ株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 黒田 武志 (コード番号：3556 東証マザーズ)
問 合 せ 先	上級執行役員 CFO 宮地 直紀 (TEL 052-589-2219)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

(開催状況)

開催日 2020 年 8 月 14 日

開催方法 決算説明動画の配信

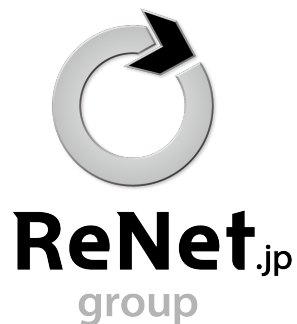
動画掲載場所 自社ホームページ
<https://corp.renet.jp/movie/>

説明会資料名 2020 年 9 月期 第 3 四半期決算概要

【添付資料】

動画の収録時において使用した資料

以上



ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る

リネットジャパングループ株式会社 2020年9月期 第3四半期 決算概要

2020.8.14
リネットジャパングループ株式会社(3556)



ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る。

リネットジャパングループが目指すのは、「収益」と「社会性」の両立

本業のビジネスの中に社会課題解決モデルを組み込み
我々の事業成長が社会への貢献につながることを目指します

そんな、後世にも語り継がれる「偉大な作品」創りを経営理念として掲げています

TOPICS

- 新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛の影響で、いわゆる「巣ごもり需要」が高まり、リユース／小型家電リサイクルの**国内2事業は極めて好調に推移**
- 一方、コロナウイルスのカンボジア経済への影響を見据え、車両販売事業の与信基準を厳格化したことにより営業は大幅減速
- 上記を勘案し、**通期計画の下方修正に至る**（詳細は次頁）

(百万円)	20年9月期 第3四半期実績	通期計画	通期計画修正後
売上高	5,230	7,568	6,899 (計画差 ▲669百万円、計画比 91.2%)
営業利益	169	383	179 (計画差 ▲204百万円、計画比 46.7%)
経常利益	231	412	208 (計画差 ▲204百万円、計画比 50.5%)
当期純利益	148	259	55 (計画差 ▲204百万円、計画比 21.2%)

車両販売事業

前述の通り与信基準の厳格化により、**事業の第3四半期会計期間の売上はほぼ0に留まり、第3四半期累計においても約70%減となる。**この影響は年度末まで継続するものと考えられ、さらなる悪化が見込まれる

マイクロファイナンス事業

コロナウイルスによる影響はあるものの、**ポートフォリオを分散していることにより、延滞率は安定的に推移。**カンボジア国立銀行（事実上の中央銀行）からの要請に応じ、一部の債務者の返済猶予に対応するも、その影響は軽微に留まる

人材の送出し事業

依然として日本国内の受け入れ需要は高いものの、外国人労働者へのビザ発給が停止状態にあり、一時的に送出しが困難な状況。ただし、**決算数値に対しての影響は軽微**

国内事業

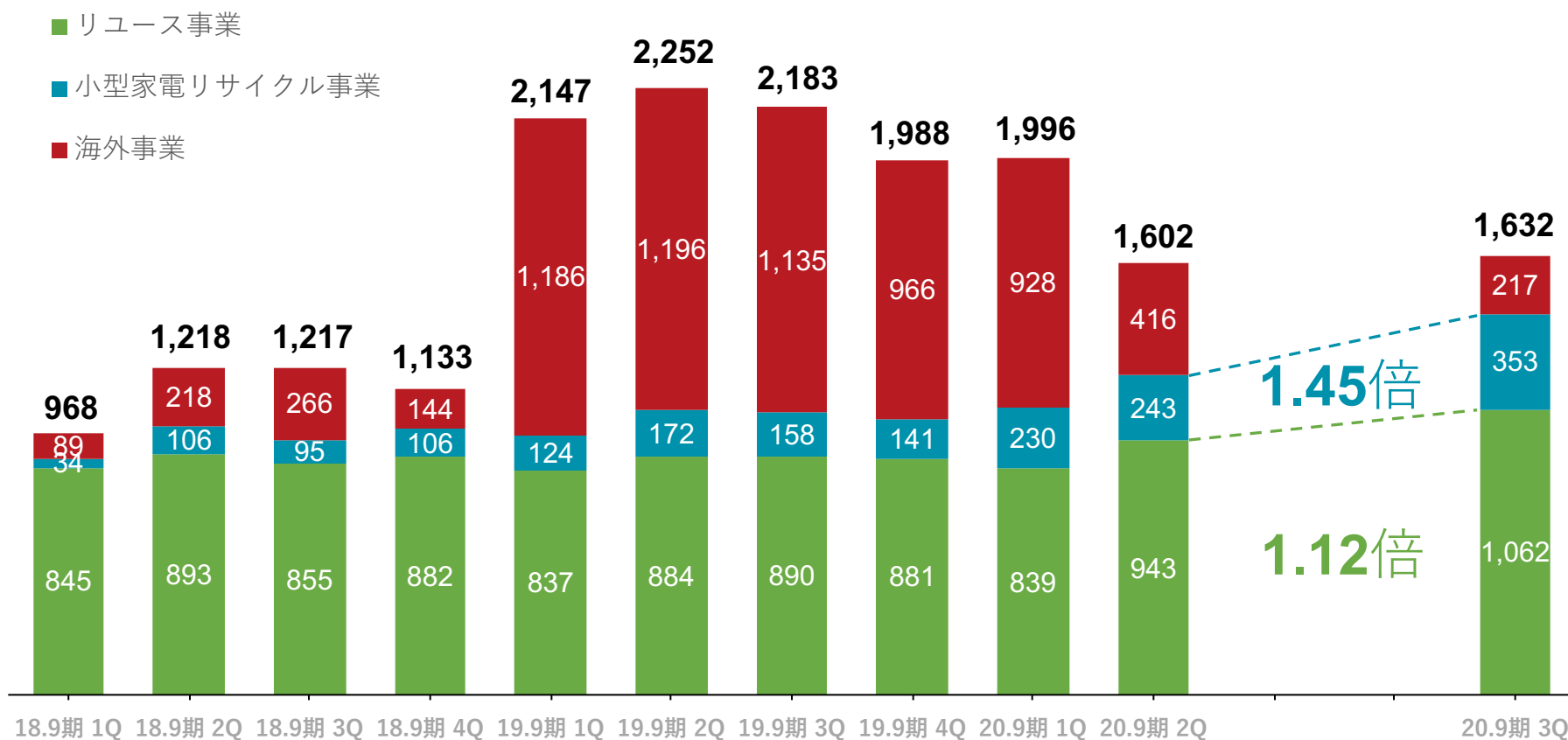
リユース／小型家電リサイクル事業の国内2事業は、引き続き巣ごもり需要により好調であるものの、**車両販売事業のマイナスを埋め合わせには至らず、下方修正に至る**

海外事業の減速を主因に売上高は20%減。好調な国内事業が大幅に利益貢献するも、販管費の増加を補えず**営業利益・経常利益が大幅減**

(百万円)	19年9月期 第3四半期累計	20年9月期 第3四半期累計	対前年同期差	対前年同期比
売上高	6,581	5,230	▲1,351	▲20.5%
売上総利益	2,927	3,258	+330	+11.3%
販売費及び 一般管理費	2,563	3,088	+524	+20.5%
営業利益	363	169	▲193	▲53.3%
経常利益	292	231	▲60	▲20.8%
税金等調整前 当期純利益	293	209	▲83	▲28.6%
法人税等	71	69	▲2	▲3.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	224	148	▲76	▲34.0%

※前期決算は海外事業の期ズレを含む（3ヶ月）

リユース事業では創業以来初めて四半期ベースで10億円を超え、
小型家電リサイクル事業は前四半期会計期間対比45%増（年率換算180%増）



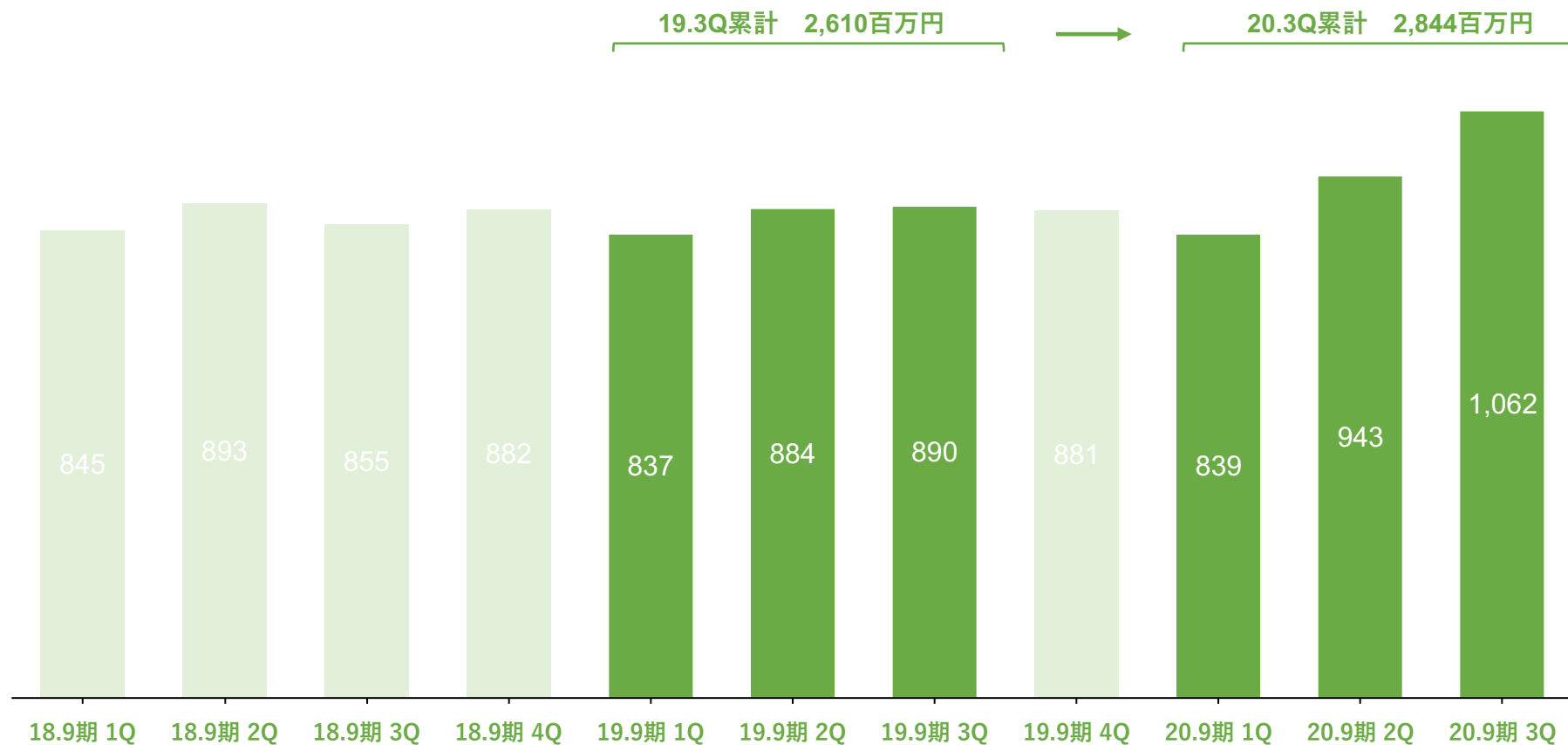
単位（百万円）

※前期決算は海外事業の期ズレを含む（3ヶ月）

過去最高の四半期売上を達成

売上高：2,844百万円

前期比：+8.9%

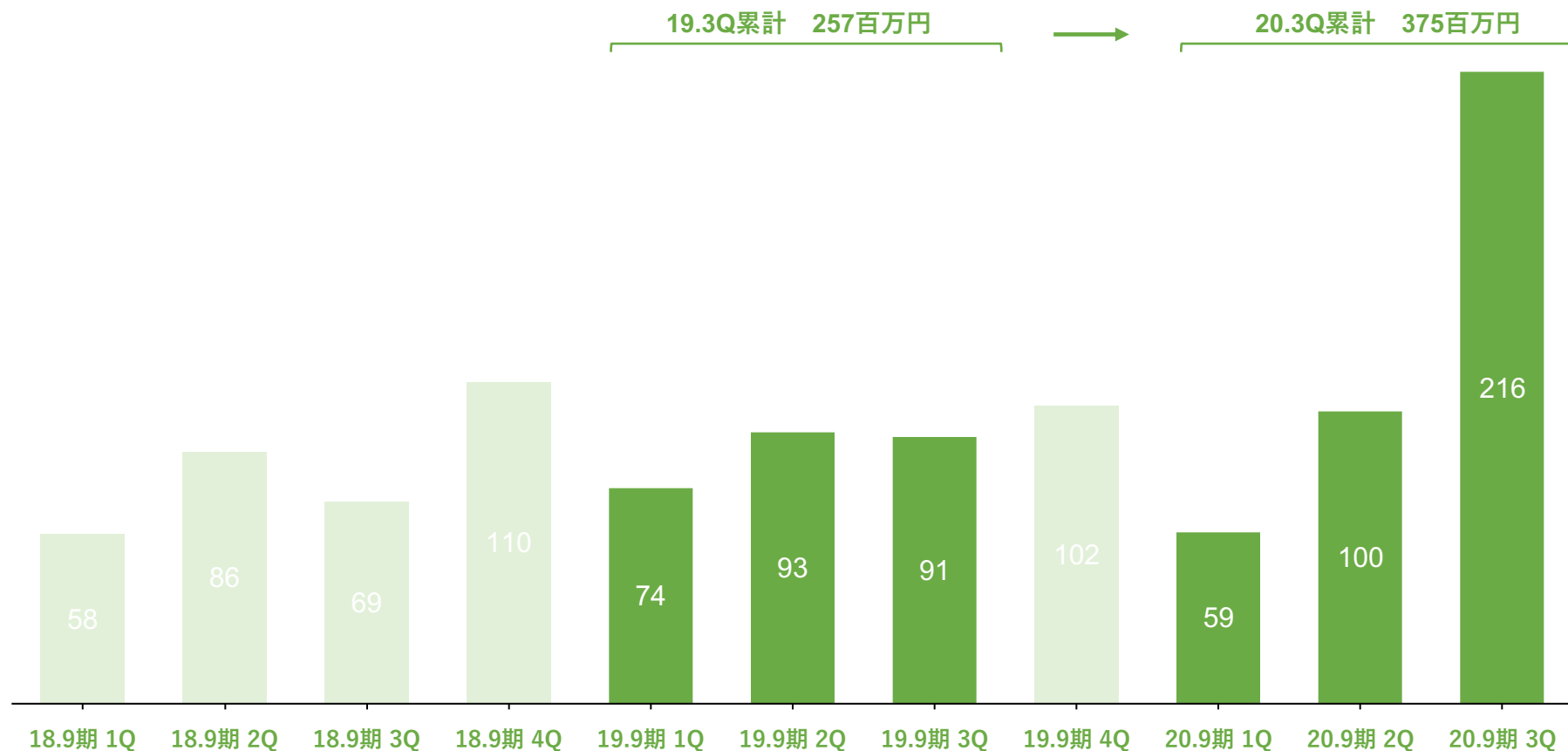


単位 (百万円)

第3四半期会計期間の経常利益は前年同期に比べて約2.4倍へ伸長

経常利益：375百万円

前期比：+45.7%

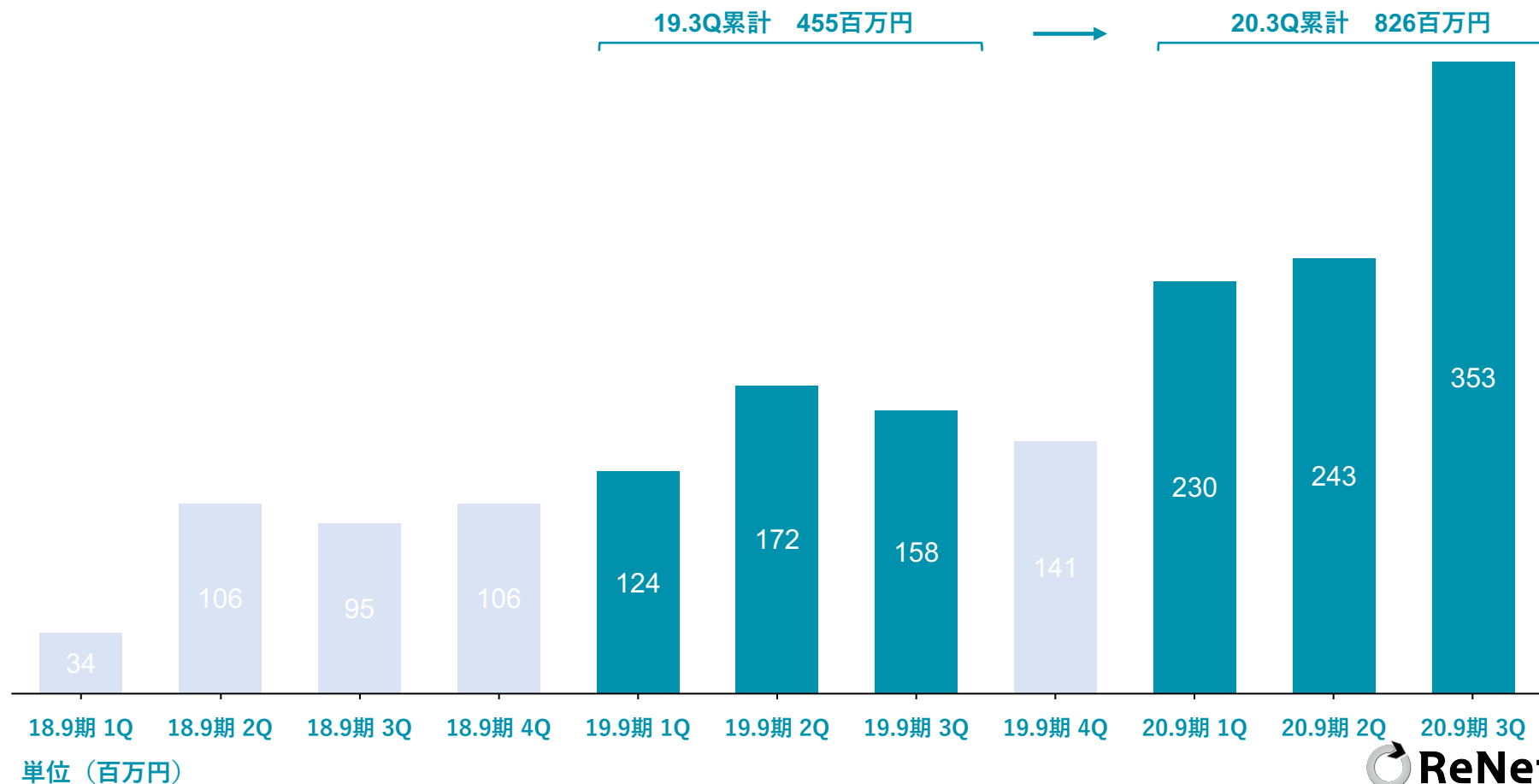


単位 (百万円)

前年同四半期会計期間比で売上高は2.23倍へ伸長

売上高：826百万円

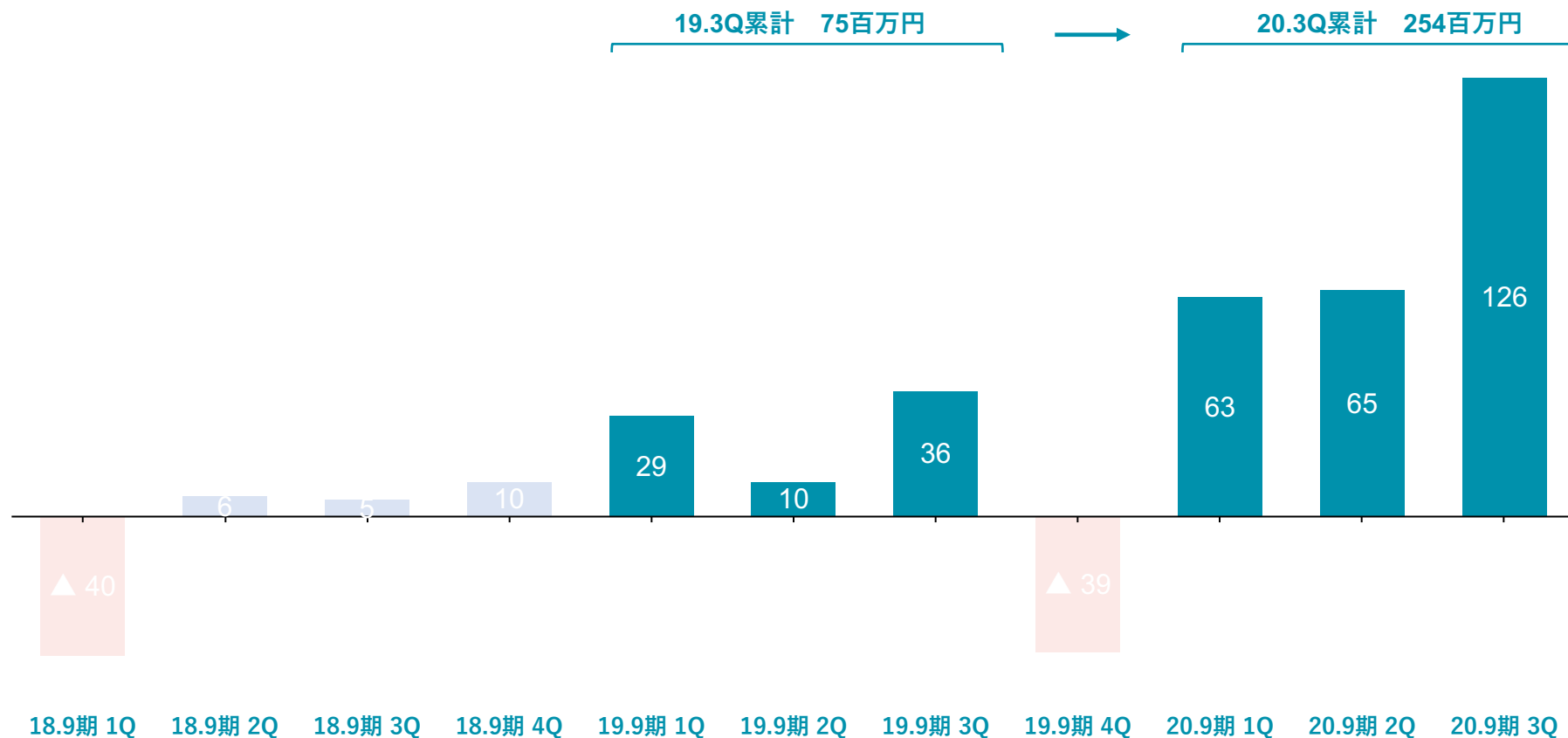
前期比：+81.6%



第3四半期会計期間の経常利益は前年同期比で約3.5倍の成長

経常利益：254百万円

前期比：3.4倍

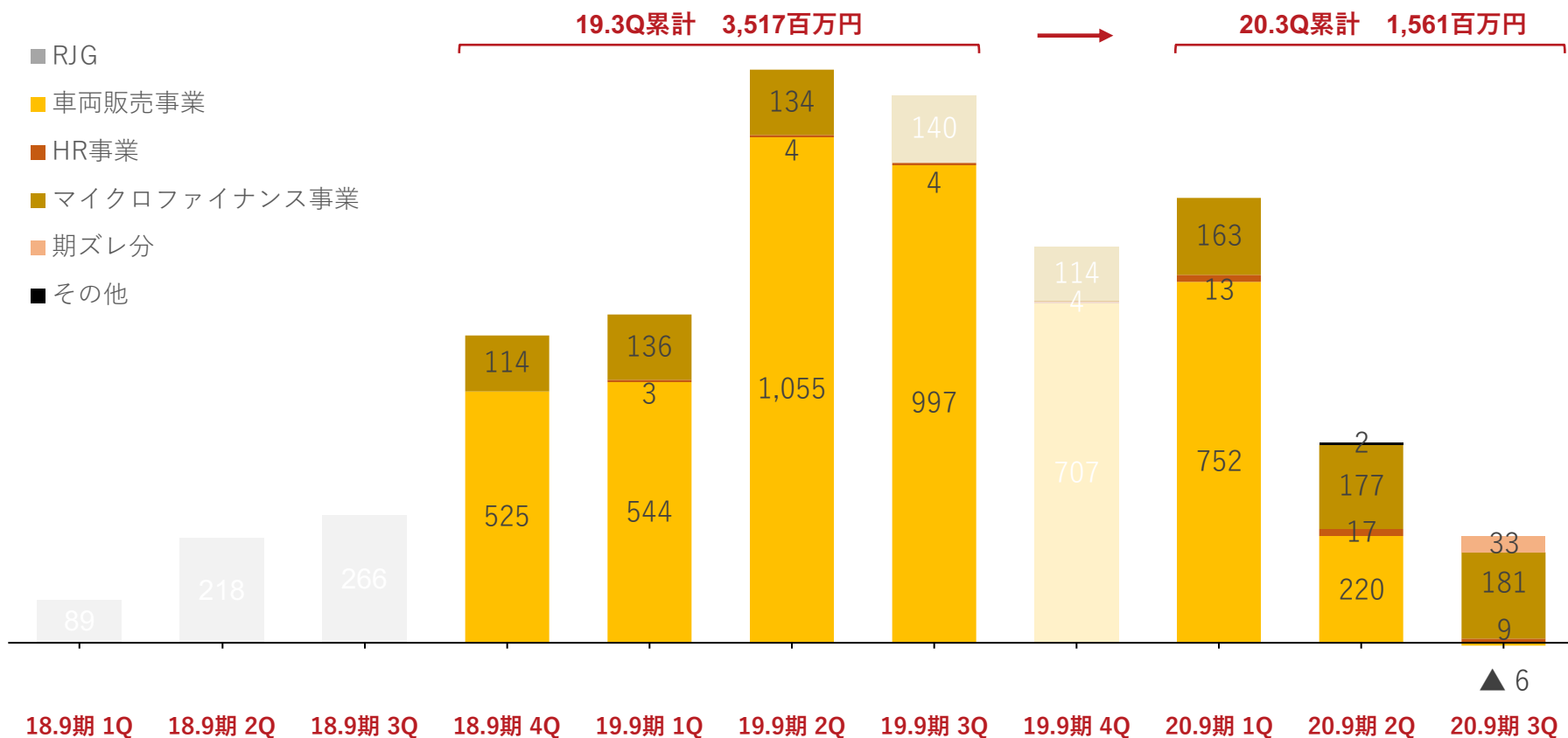


単位 (百万円)

車両販売事業の減速により大幅減収

売上高：1,561百万円

前期比：▲55.6%



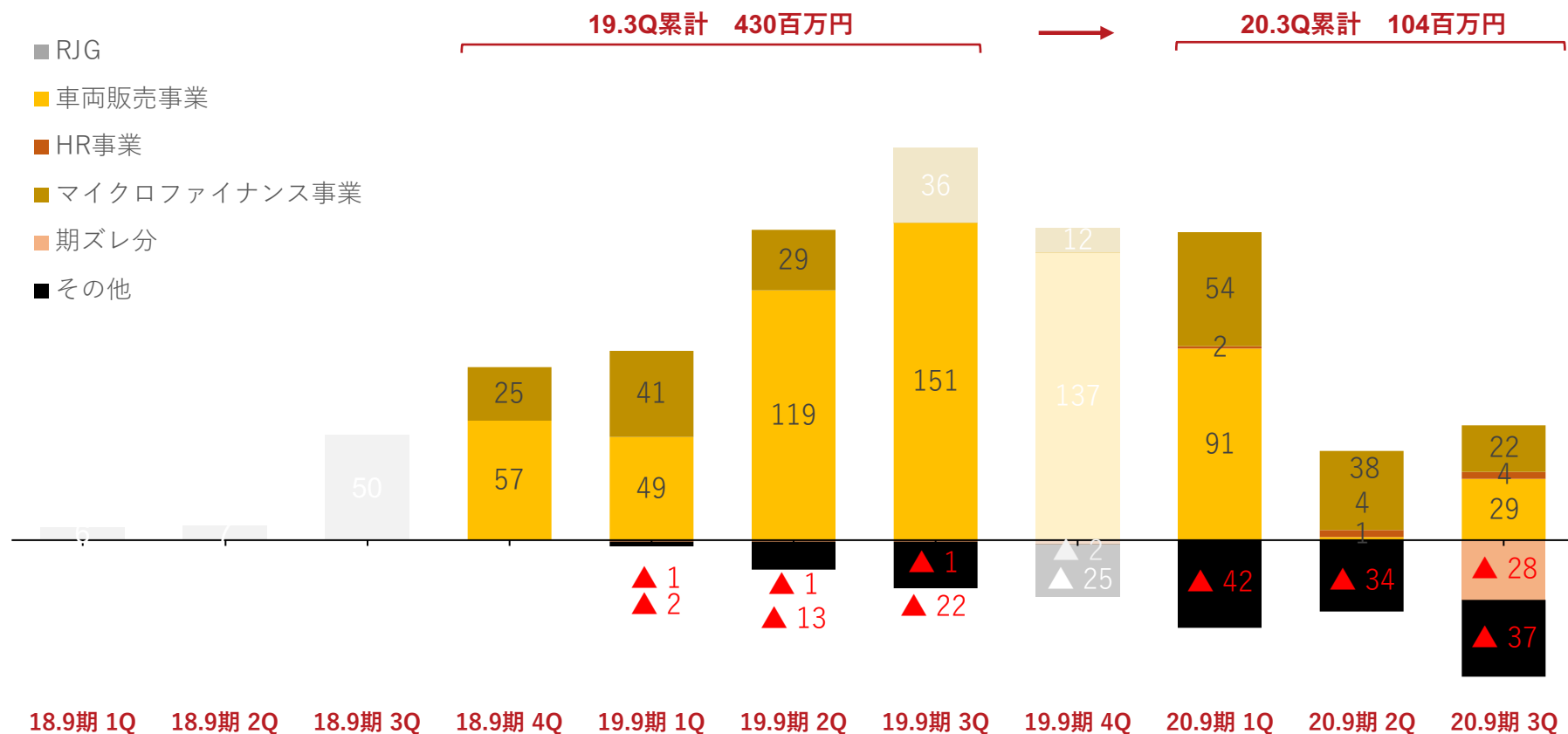
単位（百万円）

※今第3四半期会計期間にてリース事業・マイクロ保険事業・シンガポール子会社の実績期ズレ分を計上

車両販売事業の減速により第3四半期会計期間は赤字転落

経常利益：104百万円

前期比：▲75.8%



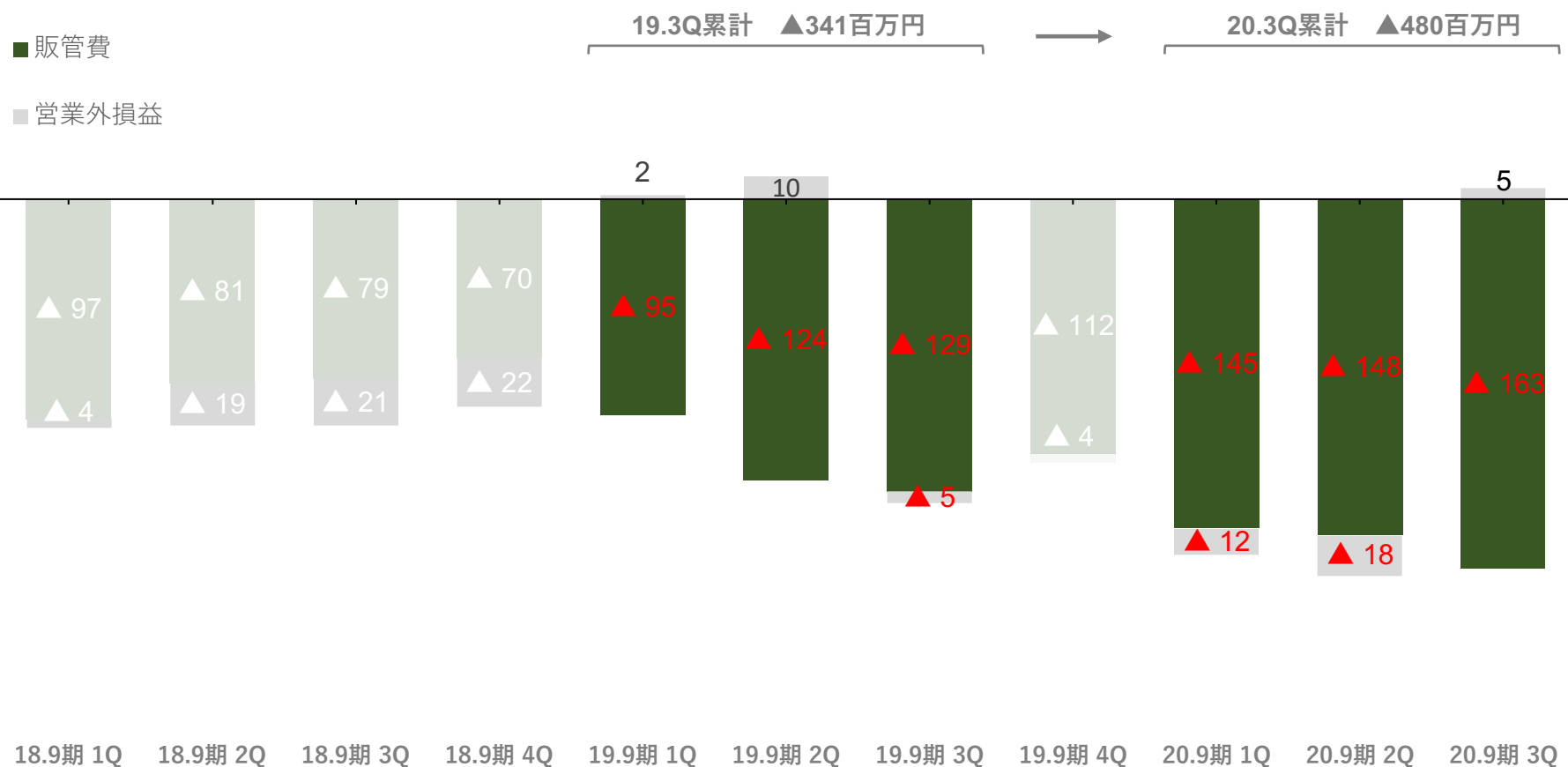
単位（百万円）

※今第3四半期会計期間にてリース事業・マイクロ保険事業・シンガポール子会社の実績期ズレ分を計上

増資に伴う事業税の増加・組織再編による経費付替の影響を除くと19.6%増

共通経費：▲480百万円

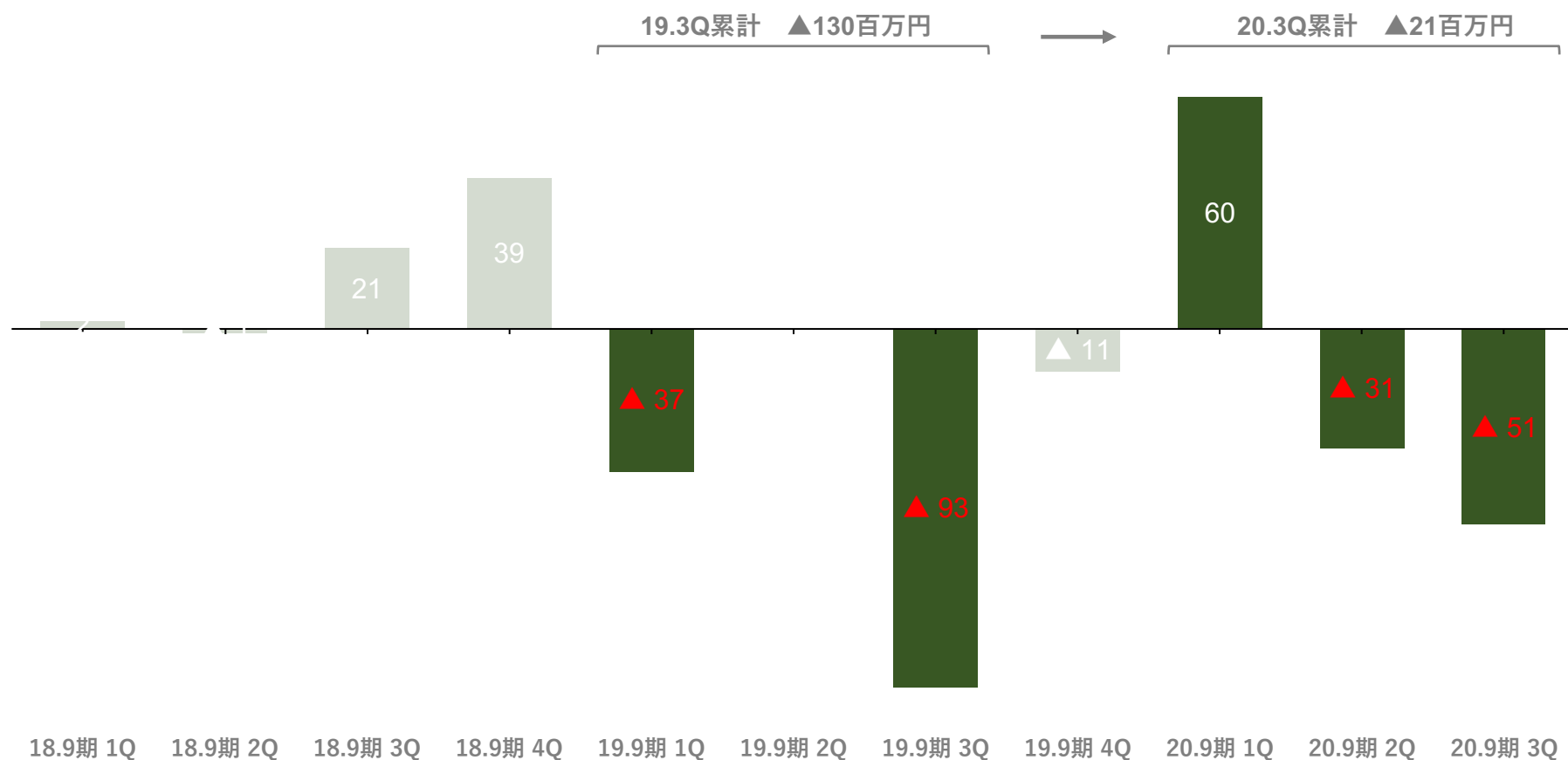
前期比：+40.7%



18.9期 1Q 18.9期 2Q 18.9期 3Q 18.9期 4Q 19.9期 1Q 19.9期 2Q 19.9期 3Q 19.9期 4Q 20.9期 1Q 20.9期 2Q 20.9期 3Q

単位（百万円）

期首の為替レート107円92銭に対し、今年度末の為替差損益のヘッジを
目的に本年4月に108円20銭／総額33百万米ドル分を約定



18.9期 1Q 18.9期 2Q 18.9期 3Q 18.9期 4Q 19.9期 1Q 19.9期 2Q 19.9期 3Q 19.9期 4Q 20.9期 1Q 20.9期 2Q 20.9期 3Q

単位 (百万円)

バランスシート的大幅増にもかかわらず、
エクイティ調達が奏功し自己資本比率は約28%を維持

(百万円)	19年9月期	20年9月期 第3四半期	対前期差	対前期比
流動資産	6,788	9,960	+3,172	+46.7%
固定資産	822	1,093	+271	+33.0%
繰延資産	10	18	+8	+80.0%
資産合計	7,621	11,072	+3,451	+45.3%
流動負債	2,751	3,477	+726	+26.4%
固定負債	2,290	4,279	+1,989	+86.9%
負債合計	5,042	7,756	+2,714	+53.8%
純資産合計	2,579	3,315	+736	+28.5%
負債・純資産合計	7,621	11,072	+3,451	+45.3%
自己資本比率	33.8%	27.9%		

リネットジャパングループ株式会社 管理本部 IR担当 E-mail : ir@renet.jp

当資料は、リネットジャパングループ株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。